

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-7	市街地におけるプロビーム道路照明についての研究開発	北海道大学大学院 教授 萩原 亨	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>街路における夜間の横断歩行者事故を防ぐ必要がある。ドライバーによる横断歩行者の発見を早める方策とし、街路におけるプロビーム道路照明を開発する。プロビームとは、車両の進行方向に光を照射する方式である。ヘッドライトと照明協調することで歩行者の発見を早めることが期待できる。</p> <p>&lt;中間評価&gt;</p> <p>2年間で期待した成果が得られており、実用的な最終成果が期待されることから、現行のとおり推進することが妥当と評価する。なお、社会実装に向けて従来技術に対する優位性等を明確にして最終成果をまとめて頂きたい。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 実用化に向けてさらに検討が進み、道路管理者が本技術を採用するメリットが明らかになることを期待する。</li><li>2. 雨天時の路面反射に起因するプロビーム照明のまぶしさについて整理されることを期待する。</li><li>3. 実務において道路線形等を考慮した具体的な設計手法が提案されることを期待する。</li><li>4. プロビームと従来技術との比較による優劣を含めた性能、プロビームが適する道路条件・設置環境について整理されることを期待する。</li></ol>			

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。